

平成28年度予算 政策的新規・充実事業一覧

(単位：千円)

環境政策局 予算要求の内容			
事業名	事業概要	要求額	所管課 電話番号
水素エネルギーの普及拡大に向けた燃料電池自動車普及促進事業	<p>わが国が目指す水素社会の実現に向け、環境先進都市としての役割を果たすため、水素エネルギー普及の意義等について広く発信するシンポジウム等を開催する。</p> <p>また、太陽光エネルギーを活用して水素を製造するコンパクトなスマート水素ステーションを設置し、ここを拠点として、新たに国内メーカーから発売される燃料電池自動車（FCV）によるカーシェアリング事業等を実施する。</p> <p>これにより、燃料電池自動車（FCV）を体感していただく機会を増やすとともに、再生可能エネルギーによる燃料電池自動車（FCV）への水素供給の仕組み、水素の製造や安全性等について啓発するために本水素ステーションを活用する。</p>	未定	地球温暖化対策室 222-4555
環境教育基本指針の策定	<p>今後、持続可能な社会を作る上で最大の鍵となるのが、人の環境に関する知識・意識の向上及び行動の活性化であり、家庭、学校、職場、地域その他のあらゆる場において環境とのつながりや、環境保全についての理解を深めるための教育及び学習としての環境教育を、ライフステージに応じて系統的かつ総合的に推進するための、環境教育基本指針を策定する。</p>	1,000	環境企画部 環境総務課 222-3450
食品ロス・レジ袋削減等2R推進事業 ～ごみになるものを作らない・買わない「リデュース」と繰り返し使う「リユース」の推進～	<p>ごみ半減をめざす「しまつのこころ条例」と、これを具体化した「新・京都市ごみ半減プラン」の推進に向け、「食品ロス※1」と「レジ袋」の大幅な削減に重点的に取り組み、2R※2の促進をさらに強化する。</p> <p>本事業は、観光客数の更なる増加、高齢化の進展、スマートフォンの急速な普及といった、今後本市にとってポイントとなる社会の動きを捉え、2Rによるごみ減量を促進するとともに、ライフスタイル・ビジネススタイルの転換を本市内外に発信し、ごみ減量の成果に繋げていく。</p> <p>具体的には、宿泊先でのアメニティグッズや買い物の際のレジ袋の辞退等を実践していただく「エコ修学旅行」の実施や、高齢者入所施設における食品ロス削減モデル事業の実施、また、2R行動や資源の分別・リサイクル行動を促すスマートフォンアプリの制作等に取り組む。</p> <p>※1 食品ロス：手付かず食品及び食べ残し                  ※2 2R：ごみになるものを作らない・買わないといった「リデュース」と繰り返し使う「リユース」</p>	33,000	循環型社会推進部 ごみ減量推進課 213-4930

(単位：千円)

環境政策局予算要求の内容			
事業名	事業概要	要求額	所管課 電話番号
せん定枝の分別・リサイクル推進モデル事業	ごみ半減をめざす「しまつのこころ条例」と、これを具体化した「新・京都市ごみ半減プラン」の推進に向け、燃やすごみを減らし資源化を進めるため、市民の皆様がせん定枝を分別排出できる機会を拡大し、市民サービスを向上させるとともに、ごみ減量を加速させる。	3,500	循環型社会推進部 まち美化推進課 213-4960
環境政策局 合計		37,500	4件